

研究機関：広島大学

研究課題名	Dual red imaging の上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術における有用性の検討
研究責任者名	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治
研究期間	2018年2月26日(倫理委員会承認後)～2020年5月31日
対象者	2017年9月1日～2019年5月31日の間に、当院で Dual red imaging (DRI) をもちいて上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(endoscopic submucosal resection; ESD)を行った患者さん
意義・目的	DRI は特殊光を用いて内視鏡画像の視認性を向上させることが期待されています。当院ではそのプロトタイプを一般発売に先行して使用しており、その有用性を検討します
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、部位、最大腫瘍径、肉眼型、内視鏡所見、治療日、治療方法、偶発症、病理所見です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 田中信治
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5537 広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 大学院生 頼田尚樹